



日本共産党杉並区議会議員

週刊

# こんにちは 山田耕平 です

2012.6.28 No.77

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

## 原発再稼働に待った! 「原発なくそう」各地で大規模デモ



官邸周辺は、45000人の参加者が詰めかけ、「再稼働反対」「原発なくせ」の音が響きわたった。

### 官邸前に4万5千人が集結 「原発再稼働」の撤回を

関西電力大飯原発の再稼働決定に対して、国民的な反対運動が起こっています。各地で様々なデモが行なわれ、二十二日夕方には、四万五千人が首相官邸を包みました。この間、杉並でも脱原発デモが行なわれましたが、「再稼働反対」「脱原発」の世論は日本全国各地に急速に広がっています。二十九日夕方にも、官邸前抗議行動の呼びかけが行なわれており、私も参加を予定しています。

### 野田首相の地元・千葉県船橋市でも 杉並区民らが共同でデモを実施

船橋市在住の日本共産党  
志位和夫委員長も参加(右)



「黄色い物を身に付け、総武線でデモに参加しよう」との呼びかけがあり、西船橋駅は参加者で溢れかえった(左)

六月二十四日(日)には、野田首相の地元、千葉県船橋市でも、杉並区や中野区でデモを繰り広げている市民らとの共同で「野田退治デモ!再稼働はダメなノダ」というデモが行なわれました。この間の杉並区の創意溢れる取り組みは、各地に波及しています。

7月16日「さよなら原発10万人集会」が行なわれます。ぜひ、ご参加ください!

高齢者向けサービスを紹介します②

# 高齢者緊急通報システム

## 急な発作や急病時など 高齢者世帯の緊急時のために

杉並区の高齢者施策で「緊急通報システム」をご存知ですか？

高齢者の急な発作など急病時に自宅に設置した通報機やペンダント型のブザーを押すことで委託業者の受信センターに連絡が届き、救急車の呼び出しや現場派遣員が駆けつけるサービスです。

対象者は六十五歳以上のひとり暮らしなどの高齢者世帯で、発作などをともなう慢性疾患があるなど、常時注意を要する方などです。

サービス料金は所得に応じて変わりますが、最大でも月額六六〇円と手ごろな価格です。

現在、杉並区内では約七〇〇人が利用しているそうです。日頃から、一人になりがちなお高齢の方は、ご利用を考えてみてはいかがでしょうか。



首に掛けて携帯できるペンダント型ブザー

### 申し込み・問合せ

杉並区保健福祉部  
高齢者在宅支援課  
管理係  
TEL 03(3312)2111  
内線 3263~3267

**対象者** ◇65歳以上の一人暮らしの高齢者、高齢者のみ世帯などで心臓病などの慢性疾患による発作に常に注意を要する方。日中に一人になる方なども、状況に応じてサービスを受けられます。

**サービス内容** ◇家庭内で緊急事態になったとき、胸にかけたペンダントのボタンを押すか、室内に設置したセンサーが作動することにより、緊急通報が行なわれる。

## 区内公園で救命救急活動（心肺蘇生）を実施

### AEDの設置促進は必要不可欠 掛け替えのない生命を守るために

六月二十七日昼頃、区内公園で応急救命活動を行いました。公園近所で街頭演説をしていたところ、子連れの母親から「公園内で男性が倒れた」と声をかけられ、現場に急行。五十代〜六十代と思われる会社員風の男性が倒れており、声を掛けるも全く反応は無く、心肺停止状態に。周りの方に一一九番通報と、AED（自動体外式除細動器）の手配を要請し、その間、胸骨圧迫による心臓マッサージを実施しました。

公園周辺にはAEDが設置されておらず、救急隊が到着するまでの十数分間、心臓マッサージを続けました。

救急隊が到着し、AEDも届けられ、ただちに使用。男性は病院に搬送されましたが、残念ながら、お亡くなりになったそうです。

日頃から、消防団などの活動を通じて、救命救急の訓練をしているため、今回のような緊急時への対応が出来ました。しかし、命を救えなかったこと、そして、AEDをすぐに使用出来なかったことは、何よりも悔やまれます。掛け替えのない生命を守るためにも、AEDの設置促進と、日頃からの訓練に励みたいと思います。

### CPR（心肺蘇生法）の意義

人間の脳は2分以内に心肺蘇生が開始された場合の救命率は90%程度ですが、4分では50%、5分では25%程度となります。救急隊到着までの数分間に「現場に居合わせた人（市民救助者）によるCPRが行なわれるかどうか」が、救命率に大きく左右します。

### 日頃の訓練が大切です

いざ、という時に備えて日頃の訓練が大切です。先日、地域のイベントでは、消防団による心肺蘇生・AED体験コーナーが行なわれました。



救命・防災指導にあたる消防団員（第三分団）